

新町長 Okagaki's New Mayor

門司 晋

SUSUMU MONJI

● PROFILE

- ◆ 1958年生まれ（62歳） 福岡県出身 岡垣町吉木区在住
- ◆ 来歴 昭和52年3月 山口県立光高等学校卒業
昭和56年3月 大阪工業大学工学部卒業
昭和56年～58年 第一復建株式会社勤務
昭和58年4月 岡垣町役場入庁 地域づくり課長、総務課長、企画政策室長歴任
平成29年3月 岡垣町副町長就任（令和2年11月退任）
令和3年1月 第16代岡垣町長就任

就任のごあいさつ

1月21日に岡垣町長に就任しました門司晋（もんじすすむ）です。就任にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

私は宮内實生前町長のもと、平成29年3月から昨年11月までの3年8カ月間、副町長として町政に携わってきました。宮内前町長とともに進めてきたまちづくりを継承しつつ、新たなステージに進めるように、現場に足を運び、皆さまとの対話を大切にしながら町政運営に取り組んでまいります。

今、全国の多くの自治体で、人口減少と少子高齢化の進行が課題となっています。このまま進むと、医療・年金・介護といった現行の社会保障システムに大きな影響が出てくること懸念されています。岡垣町も例に漏れず、ここ10年間で人口が約千人減少しており、今後も減少は続くこと予測されます。本町にとっても、人口減少は待ったなしの課題です。そのため私は、人口減少や少子高齢化の中でも「持続可能なまちづくり」をベースに、活力あるまちづくりを目指したいと考えています。

皆さまにとってこの町が「かけがえのないふるさと」になるよう、そして「住みよさを実感できる町」となるように、町の魅力を最大限に生かしながら、住みやすい岡垣を守り、発展できるように着実にまちづくりを進めてまいります。

町民の皆さまにおかれましては、今後とも町政へのご理解と、これからのまちづくりへの一層のお力添えをくださいますようお願い申し上げます。



町政を担う新リーダー誕生 「一歩ずつ着実にすすむ」

Interview

岡垣町のトップとしてこれからの町政を担う門司晋町長。今の思いとこれからのまちづくりについて聞いてみました。

初当選、町長として初登庁したときの気持ちは？

副町長を退任後、町民の皆さんとお話させていただく中で、町の課題や今後のまちづくりのために何が必要かを改めて考えることができました。より住みやすい町になるように、職員一丸となってまちづくりに取り組もうと決意を新たにしました。

門司町長から見た岡垣町の魅力を教えてください

岡垣町は自然豊かな住みやすい町といわれています。町内にはJR鹿児島本線、国道3号、国道495号と交通の主要幹線が通り、通勤・通学に便利な町です。また、日常の買い物は町内で済ますことができるなど、暮らしやすさも兼ね備えています。

一歩足を伸ばすと海辺があり山登りもできるなど自然環境にも恵まれています。何よりも、地下水85パーセントの水道水のおいしさは町の自慢です。また、気候に恵まれ地盤も良いことから、風水害や地震が比較的少なく、災害に強い町でもあります。

どのような町にしていきたいと思えますか？

就任のあいさつでも述べましたが、人口減少・少子高齢化の中

で持続できる社会をつくっていくことが、これからのまちづくりに求められている課題と考えています。「持続可能なまちづくり」を目指して、次の8つの施策を新たな展開へと進めます。

― 8つの施策 ―

- ① 安全安心な暮らしを守る
- ② 町の魅力を町内外に広く発信する
- ③ 将来に向けた都市の基盤をつくる
- ④ 子育て、教育環境を充実する
- ⑤ 健康づくりや福祉活動を充実する
- ⑥ 良好な自然環境を守る
- ⑦ 活力ある地域づくりを進める
- ⑧ 協働のまちづくり、財政の健全化に取り組む

特に子育て支援の充実、高齢者が利用しやすい公共交通網の構築、災害時の情報収集能力の強化、JR海老津駅周辺の住環境整備、国道495号を活用した観光客誘致などに重点を置いて積極的に取り組んでいきます。

町民の皆さんへのメッセージをお願いします

私がかまちづくりで大切にしていきたいのは「現場主義」と「対話重視」です。

問題が発生したときは理論や理屈だけで結論を出すのではなく、現場に絶えず足を運ぶことで、問題解決の糸口や思わぬヒントを見つけ出せると考えています。

また、町の情報を広報おかがき



▶1月21日の初登庁では職員が拍手で迎えました

や町公式ホームページ、LINEやFacebook、でんたつくなどで発信していますが、一方通行とならないよう、人の気持ちに直接伝わる対話を大切にしていきたいと思っています。

これからも積極的に町民の皆さんの声を聞き、町からの情報発信にも努めていきます。

「住みよさを実感できる町」を実現するため、一歩ずつ着実にまちづくりを進めていきますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひします。